

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)

施策名 教育・保育の充実

施策コード 5020102

1. 施策の担当	
主管課	こども部 子育て支援課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり（子育て・教育）	第1節 子ども・子育て
	施策	教育・保育の充実	

基本方針	
・幼稚園、保育園、認定こども園等は、子育て支援の最も身近で重要な施設であり、就学前教育を受ける重要な機関でもあることから、各施設と情報交換等の連携に努め、保育サービスや基盤整備を含めた教育保育環境の充実を図ります。 ・保護者が安心して働ける環境を整えるとともに、児童の健全育成を図るため、小学校などの関係機関と連携しながら、留守家庭児童会（学童保育）事業を推進します。 ・児童発達支援センターを中核とした地域支援により療育・発達支援の充実に努めます。 ・関係機関との連携のもと、乳幼児の障害の早期発見、早期療育の充実を図ります。	

現況と課題	
・幼稚園、保育園、認定こども園等に入園を希望する児童については、近年待機はゼロとなっています。しかし、就労形態の多様化、幼児教育・保育の無償化などによる保育需要の増加や教育・保育サービスに関する要求も多様化し、更なる拡充が求められています。 ・家族スタイルの多様化や教育・保育ニーズの高まりなど、児童を取り巻く環境の変化により、放課後における児童の安全・安心な居場所づくりが求められています。	

施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市内のこども園児・幼稚園児・未就園児及びその保護者	
意図（どのような状態にしたいのか）	
子育てに対する不安等を抱く保護者の相談を受けたり、安心して親子で遊ぶことができる場所や機会を提供することで、認定こども園等の施設が子育て支援の場となるようにします。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	49.3						
重要度（偏差値）	61.6						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	R4決算	R5決算				
	事業費	千円	970,531	1,023,248				
	フルコスト		3,757,206	3,918,762				
財源の内訳	国庫支出金	千円	4,727,737	4,942,010				
	府支出金		1,531,869	1,565,573				
	市債		780,294	830,173				
	その他		0	0				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		225,543	230,932				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		2,190,031	2,315,332				
			1,219,500	1,292,084				

5. 施策の重要業績成果指標（KPI）							
① KPI 1		泉佐野市内のこども園等利用待機児童数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	0.0	0.0	0.0				
達成度	100.0	100.0	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
未就学児の就学前教育・保育のニーズは高まっています。待機児童数を把握することで保護者のニーズを把握し、さらなる保育サービスの充実を図るため。		泉佐野市ではこれまでこども園等の待機児童数ゼロを維持していますので、今後も待機児童数ゼロを維持すべく目標数値を設定した。		保護者を中心に地域の取り組みとして実施できている。			

② KPI 2

留守家庭児童会(学童保育)の待機児童数

項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	0.0	0.0	0.0				
達成度	100.0	100.0	100.0				

KPI設定の根拠

KPI目標数値の設定根拠

目標達成・未達成の理由・背景

保護者が安心して就労できる環境を整備し、児童の健全育成を図るため。

泉佐野市ではこれまで留守家庭児童会(学童保育)の待機児童数ゼロを維持していますので、今後も待機児童数ゼロを維持すべく目標数値を設定した。

保護者を中心に地域の取り組みとして実施できている。

③ KPI 3

一時預かり(一時保育)の利用児童数(延べ数)

項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値			1,553.0	1,553.0	1,553.0	1,553.0	1,553.0
実績値			1,623.0				
達成度			104.51				

KPI設定の根拠

KPI目標数値の設定根拠

目標達成・未達成の理由・背景

保育園・認定こども園等に在園していない在宅の子育て世帯の保育ニーズを把握・対応するため。

いずみさの子ども未来総合計画の令和5年度量の見込みを参照した。

令和5年度より新たに目標設定。新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、前年度と比較してファミリー・サポート・センターでの預かり保育が増加したため、目標値を上回った。

④ KPI 4

児童発達支援センターの利用者数(月平均)

KPI設定の根拠

KPI目標数値の設定根拠

目標達成・未達成の理由・背景

就学前児童の療育・発達支援ニーズを把握・対応するため。

いずみさの子ども未来総合計画の令和5年度進捗管理シートの目標値を参照した。

令和5年度より新たに目標設定。早期の療育・発達支援を希望する保護者が増えているため、目標値を上回った。

⑤ KPI 5

放課後等デイサービスの利用者数(月平均)

KPI設定の根拠

KPI目標数値の設定根拠

目標達成・未達成の理由・背景

就学児童の療育・発達支援ニーズを把握・対応するため。

いずみさの子ども未来総合計画の令和5年度進捗管理シートの目標値を参照した。

令和5年度より新たに目標設定。目標値を5.4ポイント下回っているが、放課後等デイサービス事業所数は市内22か所あり、必要なサービス量は確保できている。

KPI①

1.0

0.9

0.8

0.7

0.6

0.5

0.4

0.3

0.2

0.1

0.0

■ 目標値

□ 実績値

R3実績

R4実績

R5実績

R6計画

R7計画

R8計画

R9計画

KPI②

1.0

0.9

0.8

0.7

0.6

0.5

0.4

0.3

0.2

0.1

0.0

■ 目標値

□ 実績値

R3実績

R4実績

R5実績

R6計画

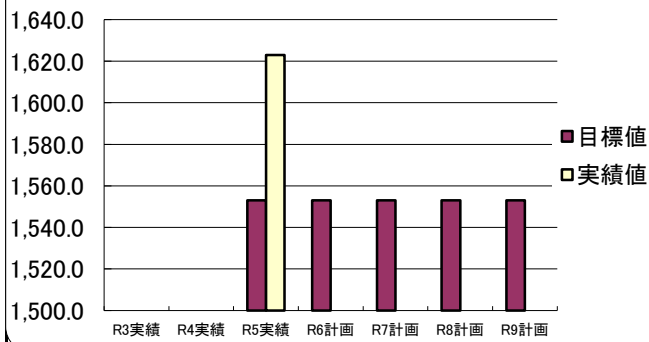
R7計画

R8計画

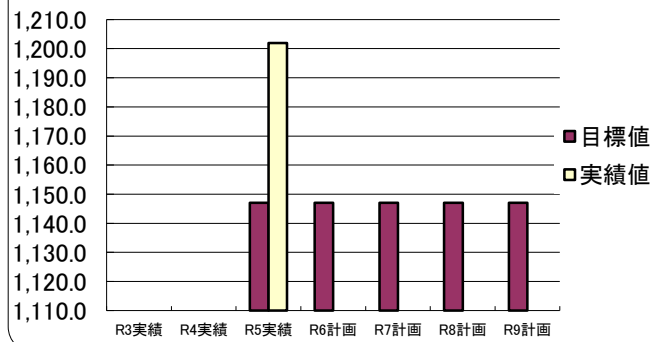
R9計画

図表

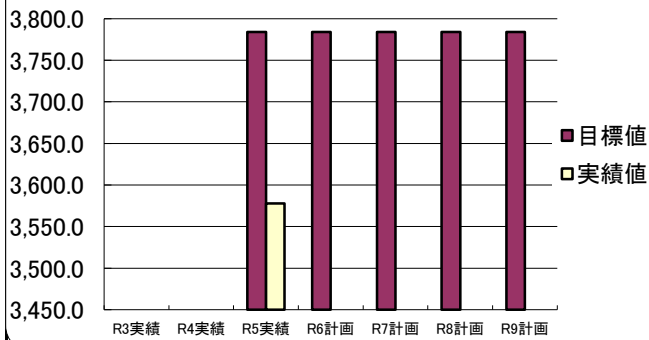
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	地域と連携した幼児教育を進めるにあたり、継続した対応が必要であり、順調に施策が継続しています。また、市独自で給食費無償化や第2子保育料無償化等の事業を実施しています。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	多様な子育ての問題の対応にあたり、幼児教育が果たすべき役割を明確にし、安心して子育てができる環境の提供が必要である。令和4年度市民アンケート調査の満足度(偏差値)は49.3となり、平成30年度調査45.5と比べ上昇している。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	幼児教育については、社会的に関心も高く、問題も多様化しています。個々の資質の向上だけではなく、組織としての教育力の向上のための強化施策が必要であると考えます。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	市主催の研修の実施、障害児の保護者に対する相談支援体制・指導体制の確保、保育士等の確保支援事業の実施など、サービスの充実を図るために継続して事業を実施できた。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		A	施策の社会的重要度は高いことは重要度の高さから伺える。満足度も向上していることから引き続き目標値の維持に努めること。
三次評価(理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		A	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01024100	放課後児童対策事業	4,529	157,720	83,672	0	A
2	01024600	児童発達支援センター運営事業	184,082	10,281	-70,450	0	B
3	01024700	児童発達支援センター施設管理事業	2,448	7,989	5,481	0	B
4	01024900	親子教室運営事業	19,030	325	198	0	B
5	01025000	親子教室施設管理事業	816	3,517	3,517	0	B
6	01025100	民間保育所対策事業	15,650	2,924,431	971,006	0	B
7	01056800	幼稚園就園奨励事業	816	630	0	0	B
8	01081780	障害児通所支援事業	9,269	555,362	139,362	0	B
9	01083180	こども園運営事業	740,698	101,981	68,154	0	B
10	01083181	こども園健康管理事業	24,838	2,957	2,957	0	B
11	01083182	こども園施設管理事業	4,081	48,603	42,411	0	B
12	01083184	こども園通園バス事業	816	29,112	26,734	0	B
13	01083185	こども園教育研究事業	8,978	88	88	0	B
14	01083413	幼稚園利用助成事業	7,197	75,766	18,954	0	B
合計			1,023,248	3,918,762	1,292,084	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030302050	予算コード	01024100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	放課後児童対策事業			正規職員数 0.55	国庫支出金 37,024	有効性	A	入会児童数は年々増加しているため、業務の拡大が必要。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0	府支出金 37,024				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0.03	市債 0	効率性	A		
	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)	その他 0				
	児童福祉法、子ども・子育て支援法、放課後児童健全育成事業実施要綱、泉佐野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、泉佐野市留守家庭児童会要綱			人件費総額 4,529	一般財源 88,201	妥当性	A		
					減価償却費 0				
事務事業類型	運営事業				事業費 157,720	受益者負担	A		
実施手法	全部委託							事務事業実施内容	
対象				フルコスト(千円)	162,249	緊急性	C	平成27年4月からの事業委託化を実施したことにより、委託事業者との連絡調整等のための定例会議を月1回程度実施。	
特定の市民	対象数 1205			市民1人当たりコスト(円)	1,638	公的関与	C		
保護者が就労等で昼間不在になっている概ね12歳未満の児童				活動指標	R5実績				
事業の内容				開設日数	295.0	実施主体・委託化	C		
入会児童（第一小学校、第二小学校、日新小学校、北中小学校、長坂小学校、日根野小学校、長南小学校、末広小学校、佐野台小学校、中央小学校、上之郷小学校、第三小学校、大木小学校留守家庭児童会への入会）の生活指導を行い、健全育成を図る。				入会受付・判定及び発送事務		他の事務事業との関連	C		
				会費納付書作成事務					
				現場調整・連絡会	12.0				
				成果指標	R5実績	透明性	C		
				入会児童数	1,205.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
事業の目的				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
保護者が放課後不在となる概ね12歳未満の児童を留守家庭児童会で預かり、児童の健全育成の向上を図る。				1人あたりの事業費	126,758.5				

事務事業コード	030302070	予算コード	01024600	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	児童発達支援センター運営事業			正規職員数 16.6	国庫支出金 0	有効性	A	配慮を要する児童が年々増加傾向の中、引き続き療育内容の充実に努めたい。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 8.1	府支出金 0				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 14	市債 0	効率性	B		
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)	その他 80,731				
	児童福祉法・施行令・施行規則、泉佐野市立児童発達支援センター条例・同施行規則			人件費総額 184,082	一般財源 113,632	妥当性	B		
					減価償却費 0	受益者負担	C		
事務事業類型	運営事業				事業費 10,281			事務事業実施内容	
実施手法	市直営			フルコスト(千円)	194,363	緊急性	B	児童の療育とそれに伴う保護者指導	
対象				市民1人当たりコスト(円)	1,962	公的関与	A		
特定の市民	対象数 48			活動指標	R5実績				
児童発達支援センター通園児童(就学前)				開園（療育業務）日数	230.0	実施主体・委託化	A		
事業の内容				入所決定児童数	48.0	他の事務事業との関連	A		
年齢・発達に見合った個別指導や集団保育など、児童の状態に合わせて療育を行う。また、必要に応じて理学療法・作業療法等の訓練を保護者指導と合わせて行う。				介護給付費事務	12.0				
事業の目的				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
心身に障害をもつ乳幼児及び発達の遅れなどで通園することが望ましい乳幼児に対して、通園することにより成長・発達及び基礎的な生活能力を助長・育成することを目的とする。				児童1人当たり事業費	4,049,229.2				
				児童1人当たり市負担額	2,367,333.3				

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030302080	予算コード	01024700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	児童発達支援センター施設管理事業	正規職員数	0.3	国庫支出金	0	有効性	B	施設の老朽化はしているが、適切な施設管理を実施していく。		
担当課	子育て支援課	嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性	C			
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0					
	児童福祉法・施行令・施行規則、泉佐野市立児童発達支援センター条例・同施行規則	歳出(千円)	2,508	その他	2,508					
		人件費総額	2,448	一般財源	7,929					
				減価償却費	0	受益者負担	該当なし			
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	10,437	緊急性	C	事務事業実施内容				
実施手法	一部委託	市民1人当りコスト(円)	105	公的関与	B	修繕件数6件、機械警備・消防用設備等の保守業務				
対象	児童発達支援センター通園児童	活動指標	R5実績	実施主体・委託化	B					
特定の市民	対象数	48	修繕件数	6.0	他の事務事業との関連					A
事業の内容	児童発達支援センター（RC2階、延べ床面積748.08㎡、昭和48年竣工、H8、H11増築 建築価格37,926千円）の施設の維持管理	成果指標	R5実績	透明性						
		通園延べ利用児童数	8,434.0	財政健全化計画	該当なし					
				財政健全化の取組	該当なし					
				改革改善プラン達成度	該当なし					
事業の目的	児童1人当たり事業費	217,437.5								
児童発達支援センターの施設の維持管理を目的とする。										

事務事業コード		030302010	予算コード		01024900	従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		評価点		一次評価		B	
事務事業名		親子教室運営事業				正規職員数		1.1	国庫支出金		0	有効性		B		入室平均児童数は増加傾向にあり、発達指導及び相談等子育てに関する援助を今後もさらに充実していきたい。	
担当課		子育て支援課				嘱託職員数		2	府支出金		0						
根拠法令等		市単独事業 ■要綱・要領 泉佐野市1才6ヵ月健康診査事後事業実施要綱				臨時職員数		2	市債		0	効率性		B			
						歳出(千円)		その他		127							
						人件費総額		19,030	一般財源		19,228	妥当性		B			
						減価償却費		0					B				
						事業費		325			受益者負担		B				
事務事業類型		運営事業				フルコスト(千円)		19,355		緊急性		C		事務事業実施内容			
実施手法		市直営				市民1人当りコスト(円)		195						月平均41人の児童を受け入れ			
対象						活動指標		R5実績		公的関与		B					
特定の市民		対象数		41		開所日数		234.0				B					
親子教室の通園児童										実施主体・委託化		B					
事業の内容										他の事務事業との関連		B					
1才6ヵ月健診で把握された発達上問題をもつ在宅児に対し、集団あそび・親子あそびを通して発達指導及び相談等、保護者の子育てについて、親子教室を開所し、援助を行う。						成果指標		R5実績		透明性		C					
						入室月平均児童数		41.0		財政健全化計画		該当なし					
										財政健全化の取組		該当なし					
						コスト指標		R5実績		改革改善プラン達成度		該当なし					
事業の目的						入室児童1人当たり事業費		472,073.2									
1才6ヵ月健診で把握された発達上問題をもつ在宅児に対し、集団あそび・親子あそびを通して発達指導及び相談等、保護者の子育てについて援助を行うことを目的とする。																	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030302020	予算コード	01025000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	親子教室施設管理事業			正規職員数 0.1	国庫支出金 0	有効性	B	引き続き、子どもの安全のため、適切な施設管理をしています。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 0	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	B		
				歳出(千円)	その他 0				
	泉佐野市1才6ヶ月健康診査事後事業実施要綱			人件費総額 816	一般財源 4,333	妥当性	B		
					減価償却費 0	受益者負担	該当なし		
事業費					事業費 3,517				
事務事業類型	施設管理事業			フルコスト(千円)	4,333	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	44			修繕件数1件、機械警備・消防用設備等保守	
対象				活動指標	R5実績	公的関与	B		
特定の市民	対象数	41		修繕件数	1.0				
親子教室の通園児童						実施主体・委託化	B		
事業の内容						他の事務事業との関連	A		
親子教室（旧つばさ幼稚園：RC2階、833㎡、平成6年度竣工）の施設の維持管理									
				成果指標	R5実績	透明性	C		
				入室月平均児童数	41.0				
						財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				入室児童1人当たり事業費	105,682.9				
親子教室（旧つばさ幼稚園跡）の施設の整備・維持管理を行う。									

事務事業コード	030302060	予算コード	01025100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	民間保育所対策事業			正規職員数 1.7	国庫支出金 1,213,221	有効性	B	引き続き民間保育園、認定こども園、幼稚園、小規模保育事業所（計16園）への運営費等の補助を行うことにより教育・保育の充実に努める。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 0.3	府支出金 631,212				
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数 0.5	市債 0	効率性	B		
	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)	その他 108,992				
	児童福祉法・同施行令及び同施行規則、他厚生労働省の関連通知、泉佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育の利用者負担等に関する条例・同施行規則、子ども・子育て支援法			人件費総額 15,650	一般財源 986,656	妥当性	B		
					減価償却費 0	受益者負担	A		
事業費					事業費 2,924,431				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	2,940,081	緊急性	D	事務事業実施内容	
実施手法	補助・負担			市民1人当たりコスト(円)	29,674			民間保育園1園、民間認定こども園13園、民間幼稚園1園、民間小規模事業所1園へ教育・保育及び地域型保育に要する経費を支弁する。	
対象				活動指標	R5実績	公的関与	A		
特定の市民	対象数	2263		入所申込書受付数	1,977.0				
民間認可保育所・認定こども園・幼稚園・小規模保育事業所の入所児童（月平均）				入所承諾・保育料決定及び通知書発送件数	1,852.0	実施主体・委託化	A		
事業の内容						他の事務事業との関連	該当なし		
児童福祉法第51条第4項及び子ども・子育て支援法第27条及び第29条により、入所児童の教育・保育及び地域型保育に要する経費として、市が民間保育園（鶴原保育園）、民間認定こども園（泉ヶ丘保育園、上之郷こども園、こども園杉の子、なかよしこども園、すえひろこども園、下瓦屋保育園、こども園つばさ、こだまこども園、ルーテルこども園、あおいこども園、ひなのこども園、ひかりこども園、清和こども園）及び私立幼稚園（カトリック天使幼稚園）並びに小規模保育事業所（スマイルピース保育学園）へ支弁する。									
				成果指標	R5実績	透明性	C		
				月平均入所児童数	2,263.0				
						財政健全化計画	C		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				入所児童1人あたりの事業費	1,299,196.2				
児童福祉法第51条第4項及び子ども・子育て支援法第27条による入所児童の教育・保育に要する経費を民間保育所等へ支弁することを目的とする。				入所児童1人あたりの市負担額	435,994.7				

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020101040	予算コード	01056800	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価点	一次評価	B
事務事業名	幼稚園就園奨励事業			正規職員数	0.1	国庫支出金	0	有効性
担当課	子育て支援課			嘱託職員数	0	府支出金	0	B
	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0	効率性
	■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)		その他	630	B
根拠法令等	泉佐野市私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金支給要綱			人件費総額	816	一般財源	816	妥当性
						減価償却費	0	A
						事業費	630	受益者負担
								該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	1,446	緊急性		C
実施手法	補助・負担			市民1人当りコスト(円)	15			
対象				活動指標	R5実績	公的関与		A
特定の市民	対象数	13		就園奨励費補助金の申請者数				
私立幼稚園に在籍する新入園児で、本事業の認定を受けた者。				就園助成金の申請者数		実施主体・委託化		B
事業の内容				園児保護者負担軽減補助金の申請者数	14.0			
私立幼稚園の新入園児の保護者に対し、入園料や保育料等の経費負担の軽減を図るため、対象の世帯に補助金を支給。						他の事務事業との関連		A
				成果指標	R5実績	透明性		該当なし
				就園奨励費補助金支給決定者				
				就園助成金支給決定者		財政健全化計画		該当なし
				園児保護者負担軽減補助金支給決定者	13.0			
						財政健全化の取組		該当なし
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度		該当なし
事業の目的				認定者1人当りの事業費	111,230.8			
所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公立こども園1号認定児・私立幼稚園児間の保護者負担の格差是正を目的に、幼稚園の入園料及び保育料を軽減する。								

事務事業コード		030401180		予算コード		01081780		従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		評価点		一次評価		B		
事務事業名		障害児通所支援事業						正規職員数		1		国庫支出金		276,555		有効性		A		障がい児支援の強化を図るため、平成24年度に法改正された事業であり、民間事業所とも連携・調整を図りながら、今後も事業拡大を図っていく必要がある。
担当課		子育て支援課						嘱託職員数		0.3		府支出金		139,445						
根拠法令等		法定受託事務						臨時職員数		0		市債		0		効率性		B		
		■法律・政令・省令 ■条例・規則						歳出(千円)				その他		0						
		児童福祉法、泉佐野市立障害児通所施設条例、同施行規則						人件費総額		9,269		一般財源		148,631		妥当性		A		
												減価償却費		0						
												事業費		555,362		受益者負担		A		
事務事業類型		運営事業						フルコスト(千円)		564,631		緊急性		B		事務事業実施内容				
実施手法		市直営						市民1人当たりコスト(円)		5,699						放課後デイサービス事業所数23か所				
対象		活動指標						R5実績		公的関与		B								
特定の市民		対象数						3/4		放課後等デイサービス事業所数		23.0								
通所受給者証を所持している18歳未満の児童		障害児相談支援事業者数						18.0		実施主体・委託化		B								
事業の内容		児童発達支援センター数						1.0		他の事務事業との関連		B								
児童発達支援、放課後等デイサービス等、障害児通所支援サービスの利用を希望する児童（保護者）に対し、通所受給者証を発行するとともに、障害児通所支援事業所に対し、障害児通所支援給付費の支払いを行う。																				
		成果指標						R5実績		透明性		C								
		受給者証（児童発達支援）発行件数						113.0		財政健全化計画		該当なし								
		受給者証（放課後等デイサービス）発行件数						261.0		財政健全化の取組		該当なし								
		コスト指標						R5実績		改革改善プラン達成度		該当なし								
事業の目的		障害児通所支援サービス受給者1人あたりの事業費						1,509,708.6												
障害児が身近な地域で支援が受けられるようにするため。																				

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030302030	予算コード	01083180	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	子ども園運営事業			正規職員数 64.9	国庫支出金 199	有効性		公立こども園の適切な運営を行っています。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 43.3	府支出金 0		B		
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数 38.33	市債 0	効率性			
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)	その他 33,628		B		
	児童福祉法・同施行令・同施行規則、泉佐野市立 幼保連携型認定こども園条例・同施行規則、泉佐 野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育の利 用者負担等に関する条例・同施行規則、子ども子 育て支援法、就学前の子どもに関する教育、保育 等の総合的な提供の推進に関する法律			人件費総額 740,698	一般財源 808,852	妥当性	B		
					減価償却費 0				
					事業費 101,981	受益者負担	B		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	842,679	緊急性		事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	8,505		D		
対象				活動指標	R5実績	公的関与			
不特定の市民		対象数	525	開園日数	292.0		C		
公立こども園の入園児童(月平均)				2・3号認定児童入園申込書受付	518.0	実施主体・委託化			
事業の内容							B		
認定こども園法第2条第6項に規定する認定こども園の運営及び児童福祉法第 24条第1項より、市町村は、保護者の労働又は疾病その他の政令で定める基 準に従い、条例で定める事由により、その監護すべき乳児、幼児又は第39条 第2項に規定する児童の教育・保育を必要とする場合において、保護者から申 込みがあった時は入所決定し、利用者負担額の徴収を行い、教育・保育を実施 する。						他の事務事業との関連	A		
				成果指標	R5実績	透明性			
				2・3号認定月平均入園児童数	485.0		B		
				1号認定月平均入園児童数	40.0	財政健全化計画			
				待機児童数	0.0		C		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				入園児童1人当たりの事業費	1,605,102.9				
公立こども園の運営				入園児童1人あたりの市負担額(円)	1,540,670.5				

事務事業コード	020101030	予算コード	01083181	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	こども園健康管理事業			正規職員数 2.1	国庫支出金 0	有効性		学校保健法に基づき、定期健康診断を実施。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 1	府支出金 0		A		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 3	市債 0	効率性			
	■法律・政令・省令			歳出(千円)	その他 0		B		
	学校保健安全法第13条、第15条 学校保健 安全法施行規則第5条、第6条、第12条、第1 3条			人件費総額 24,838	一般財源 27,795	妥当性	A		
					減価償却費 0				
					事業費 2,957	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	27,795	緊急性		事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	281		B		
対象				活動指標	R5実績	公的関与			
特定の市民		対象数	595	園児定期健康診断実施回数	3.0		A		
市内の公立こども園に在籍する園児及び勤務する教職員				教職員定期健康診断実施回数	3.0	実施主体・委託化			
事業の内容				災害共済給付支払回数	21.0		B		
①市内の公立こども園に在籍する園児への各種定期健康診断の実施 ②市内の公立こども園に勤務する教職員への各種定期健康診断の実施 ③園児災害共済の契約及び支払						他の事務事業との関連	A		
				成果指標	R5実績	透明性			
				園児定期健康診断受診者数	491.0		該当なし		
				教職員定期健康診断受診者数	104.0	財政健全化計画			
				災害共済給付受給者数	21.0		該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				受診者1人当たりの経費	46,714.3				
こども園園児・教職員の健康保持増進と適切な学校環境衛生の整備を図る。									

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030302040	予算コード	01083182	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	こども園施設管理事業			正規職員数	0.5	国庫支出金	0	引き続き、子どもの安全のため、適切な施設管理をしています。		
担当課	子育て支援課			嘱託職員数	0	府支出金	3,555			
	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0			
根拠法令等	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)		その他	2,637			効率性
	児童福祉法・同施行令・同施行規則、泉佐野市立幼保連携型認定こども園条例・同施行規則、泉佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育の利用者負担等に関する条例・同施行規則、子ども子育て支援法、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律			人件費総額	4,081	一般財源	46,492	妥当性	A	
				減価償却費		0	受益者負担	該当なし		
				事業費		48,603				
				事務事業類型	施設管理事業			フルコスト(千円)	52,684	緊急性
	実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	532	公立3所3園、修繕65件			
対象				活動指標	R5実績	公的関与	B			
特定の市民	対象数	525	修繕件数		65.0	実施主体・委託化	B			
公立こども園の入所児童						他の事務事業との関連	A			
事業の内容						透明性	B			
公立こども園3園（各園に旧幼稚園棟、旧保育所棟）の維持・管理				成果指標	R5実績	財政健全化計画	該当なし			
				施設数	6.0			財政健全化の取組	該当なし	
						改革改善プラン達成度	該当なし			
				コスト指標	R5実績					
				入所児童1人当たりの事業費	100,350.5					
	事業の目的									
	公立こども園3園（各園に旧幼稚園棟、旧保育所棟）の維持・管理									

事務事業コード	020101010	予算コード	01083184	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	こども園通園バス事業			正規職員数 0.1	国庫支出金 699	有効性	C	幼稚園の統廃合には、通園バスは不可欠である。		
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 0	府支出金 0					
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C			
				歳出(千円)	その他 1,679					
				人件費総額 816	一般財源 27,550	妥当性	A			
					減価償却費 0					
					事業費 29,112	受益者負担	A			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 29,928		緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円) 302				3園の通園バスの運行		
対象				活動指標	R5実績	公的関与	B			
特定の市民	対象数 58			幼稚園通園バス	4.0					
市立こども園通園バス利用者						実施主体・委託化	C			
事業の内容						他の事務事業との関連	A			
園児通園バス（のぞみ、さくら、はるかの各こども園への送迎）の運行委託を行っている。（保護者負担額は3,500円/人・月）										
				成果指標	R5実績	透明性	該当なし			
				通園バス利用者数	29.0	財政健全化計画	該当なし			
						財政健全化の取組	該当なし			
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
				通園バス利用者一人当たり経費	1,032,000.0					
事業の目的										
園への通園が徒歩によることが不可能なこども園児（1キロ以内は除く）への通園バスの提供										

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード 020101002		予算コード 01083185		一次評価		B	
事務事業名		こども園教育研究事業		評価		有効性	
担当課		子育て支援課				A	
根拠法令等		市単独事業		有効性		該当なし	
		■法律・政令・省令		効率性		該当なし	
		教育公務員特例法第21条、第22条		妥当性		A	
				受益者負担		該当なし	
事務事業類型		運営事業		緊急性		B	
実施手法		市直営		市民1人当たりコスト(円)		92	
対象		活動指標		R5実績		公的関与	
内部事務		対象数		研修会参加回数		349.0	
保育教諭（こども園）						実施主体・委託化	
事業の内容						B	
保育教諭研修会の中で先進園の見学、教材ビデオの視聴等、各種研修会に参加し視野を広め、資質の向上を図る。						他の事務事業との関連	
						A	
		成果指標		R5実績		透明性	
		研修会参加者延人数		1,045.0		該当なし	
						財政健全化計画	
						該当なし	
						財政健全化の取組	
						該当なし	
		コスト指標		R5実績		改革改善プラン達成度	
事業の目的		研修会参加者1人当たりの事業費		8,675.6		該当なし	
保育教諭のスキルを高め、資質の向上を図る。							

事務事業コード		020101050	予算コード		01083413	一次評価		B						
事務事業名		幼稚園利用助成事業				正職員数	0.8	国庫支出金	37,875	有効性	A	令和元年10月から幼児教育の無償化がスタートし、私立幼稚園の保護者の経済的な負担が軽減された。		
担当課		子育て支援課				嘱託職員数	0	府支出金	18,937					
根拠法令等	法定受託事務				臨時職員数	0.5	市債	0	効率性	C				
	■法律・政令・省令				歳出(千円)		その他	0	妥当性					
	子ども・子育て支援法、同施行令、同施行規則				人件費総額	7,197	一般財源	26,151	受益者負担	A				
							減価償却費	0						
								事業費	75,766		A			
事務事業類型		運営事業				フルコスト(千円)		82,963		緊急性	該当なし	事務事業実施内容 私立幼稚園（私学助成）に通園する園児の保護者に対し1か月あたり25,700円を上限に保育料を補助するため、法定代理受領により私立幼稚園（私学助成）へ施設等利用費を支給した。		
実施手法		補助・負担				市民1人当りコスト(円)		837						
対象						活動指標		R5実績		公的関与	A			
特定の市民		対象数				266		申請者数		266.0				A
事業の内容		私立幼稚園（私学助成）に在籍する園児で、本事業の認定を受けた者。								実施主体・委託化			A	
私立幼稚園（私学助成）に通園する園児の保護者に対し、1か月あたり25,700円を上限に保育料を補助する。										他の事務事業との関連			B	
						成果指標		R5実績		透明性	A			
						対象者数		266.0						
										財政健全化計画			該当なし	
										財政健全化の取組			該当なし	
										改革改善プラン達成度			該当なし	
事業の目的						コスト指標		R5実績						
「幼児教育の無償化」に伴い、保育料を補助することで保護者の経済的負担の軽減を目的としている。						対象者1人当りの事業費		311,891.0						